

3M™ バーサフロー™ 電動ファン 使用方法



バーサフロー™ 電動ファンは、指定のヘッドギアと組合せることでJIS T 8157:2009に適合します。捕集効率は99.97%以上のフィルターでろ過した清浄な空気を一定風量(190LPM以上)で供給します。風量低下、電圧低下時には音と光で警報を発します。

表示とON/OFF

ON/OFF



青色のONボタンを数秒押し続けると起動し、正常起動すると緑のランプが点灯します。ONボタンを押し続けると止まります。

操作部表示

操作部は全て青色になっています。

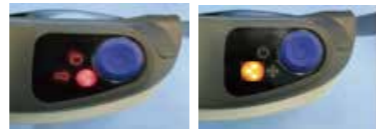


バッテリー残量確認



TESTボタンを押すと、LEDの点灯数でバッテリーの残量が分かります。

風量警告・電圧警報



風量が規定値より下回ると赤のランプが点滅し、警報が鳴ります。電圧が低下すると橙のランプが点滅し、警報が鳴ります。

1 STEP

使用前点検

電動ファンに損傷がないか確認します。

フィルターがきちんと装着されているか確認します。



表示とON/OFFを参照して電動ファンを起動させ、異常がないか確認します。

⚠ 異音や振動が認められた電動ファンはご使用にならないでください。

2 STEP

風量チェック

電動ファンを起動させたまま、電動ファンの空気出口に風量計を差し込みます。風量計が垂直になるように電動ファンを傾け、目の高さで浮き子が指示線(赤矢印)の上にあることを確認します。



⚠ 風量が十分に出ていない電動ファンはご使用にならないでください。

3 STEP

警報チェック

電動ファンを動かした状態で風量計を外します。電動ファンの空気出口を手のひらで塞ぎ、その状態で少し待って、警報が鳴り、赤のランプが点滅することを確認します。



その後手を離し、少しすると警報が止んでランプが消えることを確認します。

4 STEP

呼吸チューブ接続

呼吸チューブを接続します。呼吸チューブの突起を電動ファンの溝に合わせ、まっすぐに押し込んだ後、時計回りにひねると固定されます。



5 STEP

つける

作業中にぐらつかないようにしっかりと電動ファンを装着します。



⚠ 使用中に警報が鳴ったら直ちに安全な場所に退避してください。

クリーニング

電動ファンは、中性洗剤をしみ込ませた布で汚れをふき取ります。

⚠ 溶剤を用いたクリーニングはしないでください。

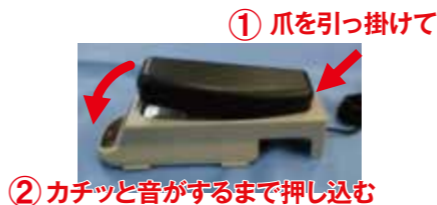
防じんフィルターを叩いたり、圧縮空気を吹き付けたりしてクリーニングをしないでください。

⚠ 防じんフィルターが傷ついて、呼吸が守れなくなります。

プレフィルターはこまめに交換してください。

充電

バッテリーの青ボタンを押しながら本体から外し、充電器に取り付けて充電します。



表示(上から)

- ・充電中(橙)
- ・90%充電済
- ・充電完了(緑)
- ・異常(両方点滅)

⚠ 充電は0℃~40℃の範囲で行ってください。この温度以外では充電できません。

バッテリー取付

バッテリーは以下に従って取り付けてください。無理に押し込むと本体側の端子が破損します。



⚠ 本体側の接点が変形すると、電動ファンの風量が不安定になったり停止することがあります。

フィルター交換

(防じんフィルター、プレフィルター)

側面の青ボタンを押しながらフィルターカバーごと外して防じんフィルター、プレフィルターを交換します。



⚠ 必要な時間バッテリーが持たなくなったら、フィルターを交換ください。

⚠ 防じんフィルターのラベルがフィルターカバーの窓から見えるように取り付けてください。

3M、バーサフローは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
安全衛生製品事業部

OHS-928-C

カスタマーコールセンター
製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで
0570-011-321
ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます。
受付時間 / 8:45 ~ 17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)

3M